

# シンポジウム

# 「新宿サンクチュアリ2020」

2020年に向けて発信したい文化芸術の魅力

私  
にとっての  
サンクチュアリな新宿。

新宿  
SHINJUKU

2017年10月27日(金) 21:30-23:00 @ 新宿末廣亭 観覧無料 申込不要  
寄席演芸以外で利用されることは珍しい、都内唯一の木造建築の定席「新宿末廣亭」で開催!

出演 モデレーター:榎本了亮(クリエイティブ・ディレクター)、ヴィヴィアン佐藤(アーティスト)  
パネリスト:野老朝雄(デザイナー)、中島信也(CMディレクター)、日比野克彦(アーティスト) 他

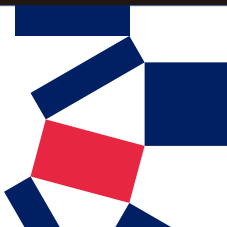
東京2020  
オリンピック競技大会  
1001日前



【主催】新宿フィールドミュージアム協議会  
(新宿区、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会[芸団協]ほか)  
【協力】新宿末廣亭  
【問い合わせ】公益社団法人日本芸能実演家団体協議会[芸団協]  
tel 03-5909-3060 email sfm@geidankyo.or.jp

満席の場合は、お入りいただけない場合がございます。

公認プログラム



# シンポジウム 「新宿サンクチュアリ2020」

2020年に向けて発信したい文化芸術の魅力

個性に富んだサンクチュアリ(聖地)を選定する

「新宿サンクチュアリ」プロジェクトの始動に先立ち、シンポジウムを開催。

パネリストによる「私にとってのサンクチュアリな新宿」のプレゼンテーションと、

それに続くトークセッションにご期待ください!



Ryoichi ENOMOTO

榎本了亮

【モデレーター】

クリエイティブ・ディレクター

1947年東京生まれ。武蔵野美術大学造形学部卒業。(株)アタマテ・インターナショナル代表。日本文化デザインフォーラム理事・幹事。著書『榎本了亮のアイデアノート・脳業手技』『東京モンスターランド』他。71年寺山修司監督作品『書を捨てよ町へ出よう』美術、天井棧敷ヨーロッパ公演美術担当。74年月刊『ピククリハウス』を萩原朔美と創刊。以降、編集、出版、文化イベント、TV番組制作等の仕事を展開。80年より『日本グラフィック展』『オブジェTOKYO展』『URBANART』を99年までプロデュース。86年『世界デザイン博』住友館総合プロデュース。『横浜博』広報アートディレクション。『カウパレード TOKYO2003』プロデュース。東京2020オリンピック・パラリンピック・エンブレム委員。2016年gggで「榎本了亮コーカイ展」開催。



Vivienne SATO

ヴィヴィアン佐藤

【モデレーター】

アーティスト

美術家、文筆家、非建築家、映画批評家、ドラッグクイーン、プロモーター。ジャンルを横断していき独自の見解で何事をも分析。自身の作品制作発表のみならず、「同時代性」をキーワードに映画や演劇など独自の芸術論で批評/プロモーション活動も展開。野宮真貴、故山口小夜子、故野田凧、古澤巖など個性派のアーティストとの仕事も多い。2012年からVANTAN・バンタンデザイン研究所で教鞭をもつ。各種大学機関でも講義多数。青森県七戸町の町興しコンサルタント担当、広島県尾道市の観光大使。



Asao TOKOLO

野老朝雄

【パネリスト】

アーティスト

<http://www.tokolo.com>

1969年新宿区生まれ。幼少時より建築を学び、江頭慎に師事。2001年9月11日より「繋げる事」をテーマに紋様の制作を始め、美術、建築、デザインの境界領域で活動を続ける。単純な幾何学原理に基づいて定規やコンパスで再現可能な紋と紋様の制作や、同様の原理を応用した立体物の設計/制作も行なっている。

<主な作品>

2012年 「工学院大学125周年記念総合教育棟」(設計:千葉学建築計画事務所)のためのファサードパターン制作(東京)  
2013-16年 「大名古屋ビルヂング」(設計:三菱地所設計)のための下層部ファサードガラスパターン制作(愛知)  
2016年 東京2020オリンピック・パラリンピックエンブレム



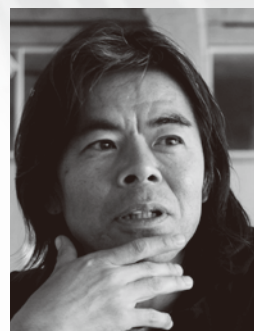
Shinya NAKAJIMA

中島信也

【パネリスト】

CM演出家

1959年福岡県生まれ大阪育ちの江戸っ子。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒。テレビCMの演出を手がける一方で東北新社取締役を務める。'83「ナショナル換気扇」で演出デビュー。デジタル技術を駆使した娯楽性の高いCMで数々の賞を受賞。代表作は日清食品カップヌードル「hungry?」('93カンヌグランプリ)、サントリー「燃焼系アミノ式」シリーズ('03ACCグランプリ)、サントリー「伊右衛門」シリーズ('05ADCグランプリ)、TO NEOレスト「菌の親子」など。劇場用映画「ウルトラマンゼアス」「矢島美容室ザ・ムービー」の二本を監督。文化放送「なかじましんや土曜の穴」パーソナリティとして出演中。



Katsuhiko HIBINO

日比野克彦

【パネリスト】

アーティスト

1958年岐阜市生まれ。1984年東京藝術大学大学院修了。1982年日本グラフィック展大賞受賞。平成27年度芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)。地域性を生かしたアート活動を展開。「明後日新聞社文化事業部/明後日朝顔」(2003~現在)「アジア代表」(2006年~現在)「瀬戸内海底探査船美術館」(2010年~現在)「種は船航海プロジェクト」(2012年~現在)等。2014年より異なる背景を持った人たちの交流をはかるアートプログラム「TURN」を監修。現在、東京藝術大学美術学部長、先端芸術表現科教授、岐阜県美術館長、日本サッカー協会社会貢献委員会委員長、東京都芸術文化評議会 専門委員、公益財団法人日本交通文化協会理事を務める。

2017年10月27日(金) 21:30-23:00 @ 新宿末廣亭 観覧無料 申込不要



新宿フィールドミュージアムとは

新宿フィールドミュージアムは、新宿の文化資源を活用し、新宿のまちの魅力を創造・発信する事業です。多種多様な104の文化芸術団体により「新宿フィールドミュージアム協議会」を組織し、「しんじゆく くく〜リンクする、アート&カルチャー〜」というキャッチコピーの下、新宿区の文化月間(10月-11月)に実施しています。

新宿のまちを屋根のない博物館として、音楽・美術・伝統芸能・パフォーマンス・まち歩き・歴史探訪...などもりだくさんのイベントを展開しています。公式ガイドブックやウェブサイトをご覧ください、新宿のまちをお楽しみください。

<https://www.sfm-shinjuku.jp>



@shinjuku.field.museum



@sfm\_shinjuku